

身の回りに起きた出来事など、楽しい情報をお寄せください。
●役場企画財政課 (☎611-2724)

※広報紙に掲載した写真を提供しています。希望する方は企画財政課へ問い合わせください。



保護者から児童へ記念品をプレゼント

「今まで、そしてこれからも、私たちのことを見守ってください」など、学校に関わってきた地域住民などへの感謝や、これからの学校に対する思いなどを述べました。

また、全国屈指の実力を誇る同校吹奏楽部による記念コンサートも開催。振り付けを交えた力強い演奏で150年の節目に花を添えました。

同校は明治7（1874）年に開校し、これまでに約1万2千人が卒業しました。



喜びの言葉の発表を行う煙山小の児童たち

感謝と決意を込めて 煙山小創立150周年

煙山小創立150年記念式典が11月22日、同校で行われました。全校児童やPTA関係者など約700人が参加し、培われてきた歴史と伝統に思いをはせ、さらなる学校の発展を期しました。

式典では、全校児童による「喜びの言葉」が発表され、「少しでもいい環境で学習できるように、力を注いでいただきました」「これからも煙山小を大切にしていきます」「今までも、そしてこれからも、私たちのことを見守ってください」など、学校に関わってきた地域住民などへの感謝や、これからの学校に対する思いなどを述べました。



広宮沢に完成したプロロジスパーク盛岡

物流施設の開発や運営を行うプロロジス（日本本社・東京、山田御酒会長兼CEO）による賃貸用物流施設「プロロジスパーク盛岡」が11月28日、広宮沢に完成しました。令和6年1月に稼働予定です。

同施設はみちのくコカ・コーポトリング本社跡地に建設され、鉄骨造3階建て、延べ床面積約10万平方メートルで最大12企業が入居可能。500人程度の雇用を見込んでいます。

同日の竣工式には入居企業など関係者約70人が出席。山田会長兼CEOは「地元の皆さんに『プロロジスが来て良かった』と思ってもらえるように運用していく」と話しました。

プロロジスパーク盛岡 広宮沢に東北最大の物流拠点



竣工記念パーティーであいさつする山田会長



岩清水右京の会の会員(左)と餅つきを体験する来館者

保養センター リニューアル10周年

平成25年8月9日の豪雨災害で甚大な被害を受けた煙山の町国民保養センターで12月3日、リニューアル10周年を記念したイベントを実施。町内外から約380人が来館し、入浴後の抽選会や餅のふるまひなどの催しを楽しみました。また、来館者にヒマワリの種をプレゼントしました。



ツリーに飾り付けをするやはばこども園の園児

田園ホール クリスマスツリー

田園ホール恒例の町内園児によるツリー飾り付けと展示は12月24日まで、同ホールロビーで行われました。町内各園の年長児208人の手作りオーナメントがクリスマスの雰囲気を出しました。

12月5日は、やはばこども園の16人が飾り付けを行いました。



カードゲームを通してSDGsについて学ぶ児童

自分のできることは？ 矢巾東小でSDGs学習

矢巾東小6年生約56人を対象に11月17日、SDGs学習会を行いました。楽しみながらSDGsの考え方を学べるカードゲームを体験し、持続可能な社会のために自分たちが取り組めることを考えました。

佐々木実花さんは「資源はすぐになくなるのが分かった。水や森林を大切にしたい」と話しました。



佐々木代表理事専務から米の寄贈を受けた門馬選手、水野哲志社長（左から）

岩手ビッグブルズへ 銀河のしずく寄贈

岩手中央農協から岩手ビッグブルズに対して11月17日、銀河のしずく120キを寄贈しました。町役場で寄贈式を行い、同農協の佐々木雅博代表理事専務から門馬圭二郎選手へ米を手渡しました。

岩手ビッグブルズは昨季に念願のリーグ昇格（B3↓B2）を果たし、今季の活躍も期待されています。



藤原社長(右)へ章記を手渡す高橋町長



有識者により行われたパネルディスカッション

認知症予防の決め手は？ いきいき記念講演会

岩手医科大学による「いきいき記念講演会」が12月2日、田園ホールで行われました。町民など約200人が参加し、認知症研究に取り組む有識者の金言に耳を傾けました。登壇した九州大学の二宮利治教授は「外に出て人と交流する、親切にする、助け合うことが予防になる」と述べました。

大和財託に紺綬褒章 町への多額の寄付

町へ多額の寄付を行った大和財託(本社東京・大阪)が紺綬褒章を受章し、11月20日に高橋町長から藤原正明町長へ章記などを伝達しました。同褒章は、公益のために私財を寄付した方へ授けられるもので、個人は500万円、法人などは1千万円以上が対象です。



町への寄付状況を紹介(11月～12月)

昆松創業100周年記念事業で寄付

令和5年で創業100周年を迎えた昆松が記念事業の一環として、学校給食用にバナナ2300本と寄付金を町へ贈呈しました。(寄付金は100周年記念事業協賛会から)【写真・左から】目録や感謝状を持つ高橋町長、昆茂会長、昆泰斗専務

UDトラックス岩手から寄付

岩手銀行の商品でSDGsに関する各種取り組みを支援する「いわぎんSDGs私募債」を活用した寄付。寄付金は、やはりくにある町図書センターの図書購入などに活用します。【写真・左から】目録を受け取る高橋町長と玉山智子社長

谷村松一さんからアカマツが寄贈

役場の南側玄関前ロータリーにあるアカマツを町に寄付し、無償で既存の樹木の処理と植え付けを実施。町から谷村さんに対して感謝状を贈呈しました。【写真・左から】高橋町長から感謝状を受け取る谷村松一さん、友哉さん